

平成 30 年度 第 1 回今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会 会議録

1 日 時 平成 30 年 5 月 28 日 (月) 午後 1 時 55 分～午後 3 時 40 分

2 会 場 特別会議室 1・2 号

3 内 容

(議事 1) 地方創生推進交付金事業 (平成 29 年度実施事業) の効果検証について

(議事 2) 地方創生拠点整備交付金事業 (平成 29 年度実施事業) の効果検証について

4 出席者

<座長>

越智企画財政部長

<専門委員>

瀬野 哲郎	山本 一馬	丹下 隆志	塩見 昌弘
吉武美由紀	赤尾 宣宏	門田 尚樹	吉武 優子
望田 友加			

<代理>

阿部 和平 (宇高 秀志専門委員代理)

川田 卓哉 (門田 正孝専門委員代理)

<構成員>

越智 政徳	和田 浩一	越智 貴紀	鳥生 幸司
瀬尾 孝志	品川 二郎	森 会美	藤井 康隆
越智 秀樹	鎌田 浩志	安藤透水江	

<PT及び事業担当者>

財政課	垣内あゆみ	障がい福祉課	森 理
高齢介護課	木村 光男	子育て支援課	八木 千花
保育幼稚園課	長野 幸治	道路課	井手 則緒
下水道業務課	菊川 茂之	教育委員会総務課	越智 健治
商工振興課	平田 親吾	観光課	渡部 誠也
営業戦略課	月原 康博	水産課	村上 祐介

<事務局>

(企画課) 秋山課長、大政係長、向井主査、高橋技師

平成 30 年度 第 1 回今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会 会議録

事務局	<p>本日は、ご多忙の中、お集まりいただきましてありがとうございます。定刻より少し早いのですが、ただ今から平成 30 年度第 1 回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を開催いたします。</p> <p>私、事務局を務めさせていただきます企画財政部企画課長の秋山でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、まず、開会に当たりまして、座長の企画財政部長・越智からご挨拶申し上げます。</p>
座長	<p>皆様、こんにちは。今年度より企画財政部長を拝命しております、越智と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。本日はお忙しい中お集まりいただき、まことにありがとうございます。</p> <p>さて、人口減少の抑制に向け策定いたしました「今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、記載されている各種事業を順次、国からの交付金を活用しながら実施しているところでございます。これらの事業実施に際しましては、皆様のご理解・ご協力を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。</p> <p>また、交付金を活用した事業の実施効果について、国の制度上、検証を行う必要があり、昨年度もこの懇談会において、交付金の一つである「地方創生推進交付金」を活用した事業の効果検証をしていただきました。本日の懇談会では、昨年度に引き続き、「地方創生推進交付金」を活用し実施した平成 29 年度事業における数値目標の達成度や効果検証について、委員の皆さまからのご意見を頂戴したく存じます。</p> <p>また、併せて平成 29 年度においては、「地方創生拠点整備交付金」を活用した事業もでございます。先ほど申し上げました地方創生推進交付金事業がソフト事業であるのに対しまして、地方創生拠点整備交付金事業はハード整備事業となっておりますので、こちらも併せて委員の皆様からのご意見を頂戴したく存じます。</p> <p>さて「総合戦略」も、今年度で 3 年目を迎え、各種事業について見直しを図りつつ、本格的な事業展開を実施しております。委員の皆さまにおかれましては、引き続き今治市の人口減少対策・地方創生への取組について、ご理解・ご協力をいただければと存じます。</p> <p>なお、総合戦略や共生ビジョンに基づく取組を、より市民の皆さまに開かれたかたちで進めていくため、今年度も本ビジョン懇談会は公開会議とさせていただきます。また会議録におきましても、市の公式ホームページにて公開させていただきますので、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。なお、会の途中で傍聴される方が入室する場合もでございますので、ご了承いただければと存じます。</p> <p>それでは、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>それでは、まず始めに新任の専門委員さんを 2 名ご紹介いたします。</p> <p>今治明德短期大学 野方円講師に代わりまして、望田友加講師に今年 4 月より専門委員を委嘱させていただいております。</p> <p>中心市街地再生協議会 關清剛委員に代わりまして、丹下隆志委員に今年 4 月より専門委員を委嘱させていただいております。</p> <p>続きまして、代理出席の方をご紹介いたします。越智今治農業協同組合の宇高秀</p>

	<p>志委員の代理としまして、宮農振興部長の阿部和平様、瀬戸内運輸株式会社の門田正孝委員の代理としまして、運輸部長の川田卓哉様にご出席いただいております。</p> <p>なお、今治市社会福祉協議会の越智委員におかれましては、今治市社会福祉協議会における役員交代についての会が本日開催されておりますため、代理出席についても叶わず、やむを得ずご欠席となっております。</p> <p>次に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>今回使用する資料は、会次第、資料1-1 地域再生計画（今治型産業クラスター構築計画）、資料1-2 地域再生計画（しまなみDMO形成推進事業）、資料1-3 地域再生計画（「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進計画）、資料2 地方創生推進交付金事業効果検証調書（今治型産業クラスター構築計画）、資料3 地方創生推進交付金事業効果検証調書（しまなみDMO形成推進事業）、資料4 地方創生推進交付金事業効果検証調書（「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進計画）、資料5 地方創生拠点整備交付金事業効果検証調書（「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進計画）となっております。</p> <p>あわせて、「配席図」「資料4」「潮流体験船について」の3点を机の上に配布させていただきますので、事前にお配りしているものと、差替えをお願いいたします。皆様、おそろいでしょうか。</p> <p>では、ここからの進行を座長の企画財政部長にお願いしたいと思います。</p>
座長	<p>それでは、進めさせていただきます。事前に配布差し上げております会次第をご覧ください。本日は議事2件がございます。まず、この2件の議事の進め方について、事務局からご説明いたします。</p>
事務局	<p>それではご説明します。まず前段としまして、地方創生推進交付金制度及び地方創生拠点整備交付金制度の概要からご説明します。</p> <p>まず、地方創生推進交付金は、平成28年度に創設されたもので、「総合戦略」に基づく、自主的・主体的で、官民協働、地域間連携、政策間連携等の要素を含む先導的な事業に対して、国が必要経費の2分の1を支給するものでございます。</p> <p>次に、地方創生拠点整備交付金は、地方創生推進交付金がソフト事業の実施にかかる補助金であり、施設整備等における事業への活用ができない点がハードルとなっておりますので、地方からの要望等を受け、平成28年度末に国の補正予算において創設した交付金でございます。</p> <p>これらの交付金を受けるためには、事業ごとに「地域再生計画」を策定する必要があり、事業の具体的内容や、KPI、評価体制等について記載が求められます。</p> <p>続きまして、それぞれの交付金の交付上限や地域再生計画の計画期間をご説明いたします。</p> <p>まず、本日もご審議いただく3つの事業にかかる地域再生計画のうち、資料1-1「今治型産業クラスター構築計画」につきましては、単年度の交付金上限額は2,500万円となっております。</p> <p>また、資料1-2「しまなみDMO形成推進事業」につきましては、尾道市・上島町と連携して実施するもので、より先駆性が高いことから、単年度の交付金上限額は1億円となっております。</p>

残る、資料1-3「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進計画におきましては、地方創生推進交付金事業については、単年度の交付上限額は2,500万円となっておりますが、地方創生拠点整備交付金事業については、交付金措置は平成28年度の1年度のみであり、交付上限額は6,000万円となっております。

続きまして、各地域再生計画の概要についてご説明します。

まず資料1-1「今治型産業クラスター構築計画」でございます。本市を支える海事産業や繊維産業等の「ものづくり産業」は、技能伝承や人材不足といった課題を抱えており、また本市の顔であった中心市街地も、交通体系の変化等により活力を失いつつある状態でございますが、一方で、サイクリングやサッカー等、新たな地域資源を活かした、新産業創出の気運が高まっております。

そこで、これら地域資源の結び付きを強め、異業種連携ネットワークの形成を促進するとともに、産業人材の確保・育成と創業人材の確保支援に取り組み、産業力の強化に繋がる「今治型産業クラスター」の構築を目指して、各種施策を実施しようとするものです。主な取組としましては、バリチャレンジユニバーシティの開催、各種産業をはじめとするプロモーション展開、中心市街地活性化事業の展開などがございます。

次に、資料1-2「しまなみDMO形成推進事業」でございます。瀬戸内しまなみ海道エリアには、サイクリングルートはじめ自然、歴史、文化的資源等のポテンシャルの高い観光資源がありながら、各事業体が独自の観光振興活動を実施しているため、最大限の効果を発揮できていない現状でございます。そこで、しまなみ海道全体を広域でマネジメントする、永続的かつ自立的な事業体であるDMOを構築し、民間と協働しながら自立運営を可能とする収益事業を確立するとともに、地域を巻き込んだしまなみ海道エリアの観光産業振興を図ることを目的として、「しまなみDMO」形成運営事業を展開しようとするものでございます。

残る、資料1-3「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進計画」でございます。瀬戸内しまなみ海道開通や広域合併を経た本市は、多島美・食材・温泉・日本遺産等の多彩な観光資源を有しておりますが、近年、サイクリスト等が増加し、交流人口の拡大に対応できる受入れ環境の整備不足や地域資源間の連携不足により、その魅力を最大限発揮できていない現状でございます。そのため、観光施策の核となる「今治サイクルシティ構想」を推進し、観光客の受入れ環境を整備・充実させるとともに、サイクリングと多彩な観光資源を連携させることで、しまなみ海道沿線全域で誘客を促進し、交流人口の拡大、新産業の創出及び雇用の創出を図ることを目的としております。主な取組としましては、サンライズ糸山の拡張整備、サイクリングイベントの開催、台湾等への観光プロモーション事業などがございます。

以上が、地域再生計画の概要でございます。

それでは、これから皆様に協議していただくにあたり、議論の進め方についてご説明いたします。

まず、今回ご協議いただく事業ごとに作成しております、資料2～4の地方創生推進交付金事業効果検証調書、および、資料5の地方創生拠点整備交付金事業効果検証調書に基づいて、KPIの状況と、実施した具体的事業の概要等について各担当

	<p>課からご説明申し上げ、そのあと、事業ごとに区切って委員さんのご意見をいただくという流れで進めさせていただければと思います。</p> <p>次に、本日いただいたご意見は、各資料の左下部分、「外部有識者からの意見」欄に記載のうえ、その右側の「市の方針、改善点など」欄もいただいた意見をふまえた内容に調整のうえ、後日委員の皆さまにご確認をいただけたらと思っております。その後議会での議員の皆さまへの説明を経て、議会からのご意見も取り入れたかたちで、最終的な評価とさせていただきます、委員の皆さまにも共有させていただきます。</p> <p>以上が協議の進め方でございます。積極的なご発言をよろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>本日の議事の進行について、なにかご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>ないようでしたら、先ほどの事務局の説明のような流れで進行させていただきます。</p> <p>それではさっそくですが、議事(1) 地方創生推進交付金時事業(平成29年度実施事業)の効果検証について、協議をさせていただきます。</p> <p>はじめに、お手元の 資料2 地方創生推進交付金事業効果検証調書「今治型産業クラスター構築計画」について、担当課よりご説明します。</p>
越智構成員	<p>私は商工振興課課長補佐の越智貴紀と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>平成29年の目標数値に対する達成度についての分析について説明いたします。</p> <p>まず目標1の「輸送用機械器具、繊維製造品出荷額」及び、目標2のうち「繊維工業従業者数」が未記載である理由としては、工業統計調査の確定値が平成30年6月以降に公表となるため、現時点での数値は記載されておられません。</p> <p>目標2のもう一つの指標である「輸送用機械器具製造業従業者数」については、平成28年度では6,761人と大幅な増加と比べると、平成29年度は6,664人と前年比は減少しているものの、目標人数の6,526人は達成できています。</p> <p>また、目標3の「中心市街地の歩行者と自転車の通行量」につきましては、減少傾向ではありますが、みなと交流センター「はーばりー」やまちなか活性化サロン「ぷらっと」などの交流拠点を中心に、まちカフェなどの商業機能の充実や居住人口を増やすことなども重要であると考えております。</p> <p>それでは、実施した事業についてそれぞれの担当部局からご説明いたします。</p>
商工振興課 (平田補佐)	<p>繊維染色加工業の基盤強化につきまして、商工振興課・平田より説明させていただきます。この事業についてでございますが、繊維染色加工業が今治タオルのブランド価値とも言うべき厳しい品質基準、吸水性や柔らかさですが、それを支えているのにもかかわらず、最盛期には約30社あった企業数は現在8社まで減少しております。このままスポットが当たらず、人材不足や設備更新が出来なければ、同業界の存続はもちろん、タオル業界も危機に瀕してしまう状況です。そこで、本事業では、同業界のイメージアップを図り、優秀な人材の獲得や雇用の拡大を図るため、事業主体である愛媛県繊維染色工業組合に対し、補助金の交付をしているものです。それでは、別紙2-1の報告書をご覧ください。平成29年度事業の主な内容についてでございますが、2ページに記載しておりますように、検討委員会を8回、</p>

今治の色発信事業、IMABARI Color Show などに取り組みました。次に、4～6 ページをご覧ください。今治の色発信事業についてですが、日本流行色協会の大澤かほる氏の指導のもと、染色工場の経営者、従業員などで構成されたプロジェクトチームでワークショップを行い、六つの今治の色を提案しました。4 ページのブルーは、「青い急流」という題で、来島海峡の急流をイメージしており、ピンクは、「海からの贈り物」という題で、今治沖で取れる桜鯛の透明感のあるピンク色をイメージしております。その他にも、「菊間グレー」、「丹下グレートと劇場レッド」、「夜のお話」、「はれの門出」を提案しました。そして、7 ページにありますに、「青い急流」と「海からの贈り物」を組み合わせ、IMABARI Color Show のロゴとしました。

次に、8～13 ページまでをご覧ください。今回、IMABARI Color Show を東京の青山、今治のは一ぱりーで開催しました。「IMABARI Color Show」では、染色の技術展示や今治の色の展示の他、メインインスタレーションを、フランス人のエマニュエル・ムホーさんをお願いし、「1,000 色のレシピ」を展示しました。9 ページをご覧ください。この「1,000 色のレシピ」は、染色業界が 1,000 色を染めるとの言葉遊びと、その染めに必要な調合割合、温度湿度、時間の概念を表現しています。実際の染を、愛媛県繊維染色工業組合の各組員が協力し、日頃染めていない帆布に苦労しながらも、1,000 色染め上げ、不慣れなものでも染められる技術力を改めてアピールしました。作品作成には、今治高等技術専門校及び今治工業高校の生徒ほか地元ボランティアの方 60 名に参加していただき、今後のキャリア教育に繋げることが出来ました。なお、10 ページにつきましては、先程お話ししました染色の技術展示や「今治の色」の展示状況です。次に今治展につきましては、11 ページにありますように、青山展同様のインスタレーション、技術展示等を行い、12、13 ページにありますようにトークセッションや周辺施設と連携した今治の色のライトアップを行いました。そして、今治展開催時には、14～16 ページにありますように、オープンファクトリー事業として、工場見学会、染色職人とのランチミーティング、タオルハンカチを今治の色に染めるワークショップを開催しました。なお、今回の展示会の来場者数は、青山展が 5,035 人、今治展が 6,794 人 合わせて 11,829 人の方に来場いただきました。

次に、17、18 ページをご覧ください。こちらは、青山展、今治展開催中、開催後に新聞媒体等にて取上げられたものですが、新聞に関しては、12 月 8 日に愛媛新聞の 1、7 面等、雑誌に関しては、3 月 12 日発売のアエラ等、テレビに関しては、NHK のひめポンや今治 CATV 等に取上げていただき、多くの方に今治の染色技術を知っていただけたと考えております。最後に、19～24 ページをご覧ください。こちらは、展示会等の事業が終了後に調査したものです。23 ページをご覧ください。こちらは、いずれかのプロジェクトに参加された方、どのプロジェクトにも参加していない方に、今治タオルの品質にとって重要であると感じる技術について尋ねたものですが、「どのプロジェクトにも参加していない」層で「染色技術が重要であると感じる人」が 36.8%であったのにくらべ、いずれかのプロジェクトに参加した方の層では「染色技術が重要であると感じる人」が 6、7 割程度になっており、プロジェクトの効果があったと考えております。

なお、平成 30 年度も、29 年度に引き続き取り組んでいく「今治の色」発信事業やオ

	<p>ープンファクトリー事業等が着実に行われるように支援を行っていく予定としております。以上でございます。</p>
<p>営業戦略課 (月原係長)</p>	<p>いまばりシティクライヤー設置事業について説明をさせていただきます。</p> <p>「いまばりシティクライヤー」とは市の宣伝マンとなって今治の魅力や地域資源を全国に発信してくださる方のことです。識字率の低かった中世のイギリスに実際に存在した、公の情報など大切な情報を大声で伝える「タウンクライヤー」という職業に因んで、「いまばりシティクライヤー」と名づけました。シティクライヤーの皆様は宣伝マンになってもらい、クライヤーカードをそれぞれ独自の方法で全国に拡散してもらうことで、今治市の知名度及びイメージアップを図ります。</p> <p>平成 29 年度は一般公募を行い 18 名が選ばれ、また著名人の方 1 名を追加させていただき、合計 19 名が新たにシティクライヤーとして登録をし、1 名につき 100 枚配布させて頂いております。平成 28 年度に各界著名人に委嘱させていただいたクライヤー 20 名とあわせて合計 39 名がクライヤーカードを通して全国に向けて情報発信をして頂きました。また 3 月に卒業した市内高校生にも 1 人当たり 10 枚配布させて頂き、若者の愛郷心を育むとともに、就学・就職等で活用してもらうなど若者のネットワークを活かした情報発信が行われました。</p> <p>一般公募で選ばれた 18 名の一般クライヤーから今年の 10 月と今年の 2 月に活動報告書を提出してもらい、この事業の内容やクライヤーカードの記載内容に限らず、今治のもつプラスのイメージやマイナスのイメージなど、さまざまな情報収集ができましたので、今後のプロモーション活動に活かしていきたいと考えております。</p> <p>またさらなるプロモーション活動の拡充を図るために、シティプロモーションフリーペーパー「今治スタイル」ボリューム 3 を作成しました。今回の今治スタイルは、ロケーション編として今治がロケ地の映画やドラマ、小説などの舞台となった場所に焦点をあて、さまざまロケ地を旅する構成となっております。</p> <p>この今治スタイルは「いまばりシティクライヤー」の皆様に限らずさまざまな方に配布し、今治の魅力を全国に情報発信していただいております。</p> <p>いまばりシティクライヤー設置事業の説明は以上でございます。</p>
<p>水産課 (村上主査)</p>	<p>日本遺産を活用した観光商品造成支援事業について説明をさせていただきます。水産課の村上です。</p> <p>今治市大島の宮窪町漁業協同組合が主体となって、村上海賊の能島村上氏の本拠地である能島を周遊する「能島水軍潮流体験船」を運航しています。</p> <p>海賊ゆかりの島である能島は、周囲を最大 10 ノットにもなる潮流が渦巻く最大の難所であり、天然の要塞とも言える海城でした。</p> <p>潮流体験は、大潮、小潮、満ち潮、引き潮等によりさまざまな表情で、複雑で激しい音としぶきをあげる潮流をかき分けて進む、迫力あるクルージングを堪能することができます。</p> <p>また、能島村上氏に伝わる数々の資料が収蔵されている村上水軍博物館を始め、隣接する物産館兼魚食レストラン「能島水軍」では、地元で水揚げされた魚介類をふんだんに使った「海鮮丼」や、地元で養殖された「海賊サーモン丼」、しまなみ DMO 形成推進事業にあります「海賊むすび」のブランディングにも協力させてい</p>

	<p>ただいっており、観光・食事・体験の三大要素で、更なる集客増加を目指します。</p> <p>平成 18 年度から 54 人乗りの潮流体験船を建造し運航しており、年間の平均利用者数は、約 15,000 人程度でしたが、平成 26 年 10 月の「村上海賊の娘」の本屋大賞の受賞を手始めに、平成 28 年 4 月に村上海賊が日本遺産に登録されたことがきっかけで全国的に注目度が増し、以後 23,000 人まで増加しております。</p> <p>しかしながら、観光客の増加で嬉しい悲鳴を上げる一方で、団体客の受入困難など、利用者のニーズに対応できない状況が生じていたため、今回、潮流体験船の新造船整備について宮窪町漁協を支援し、より多くの観光客の受入れを図ります。今回の新造船は、6.0 トンで、60 人乗りとなっています。</p> <p>今後は、既存体験船と新造船とで、2 隻運航が可能になり、これまで、困難を極めていた一般客と旅行ツアー会社の予約客・団体客とのブッキング調整が解消され、さまざまな状況に対応できるようになります。</p> <p>例えば、以前は断ることも多かった修学旅行生などのバス数台を擁する団体客の受入が可能になり、就学中に歴史文化を目の当たりにできるだけでなく、アトラクション要素も含まれているため、楽しく学べる体験を提供できるようになります。</p> <p>また、長時間を要するため実験的に、平成 26 年 6 月から旅行会社が実施しています能島上陸ツアーと通常運航を同時に提供することが可能になるなど、ツアー会社と一般客との棲み分けができるようになったばかりでなく、これからは新しく魅力ある企画アイデアを幅広く具体化させることができるようになります。</p> <p>効率のよい運航が可能になるため、利用者の待ち時間の短縮や、お客さんが集中する最も潮流の激しい時間帯などに、固まった運航が可能になり、満足度と共に、リピーターの増加が見込めるようになり、広域観光周遊ルートの形成を図ります。</p> <p>日本遺産を活用した観光商品造成支援事業についての説明は以上でございます。</p>
<p>商工振興課 (越智補佐)</p>	<p>つづきまして、中心市街地活性化事業の展開についてご説明いたします。</p> <p>事業概要といたしましては、商店街での消費活動やコミュニティ活動を活発化するために、中心市街地再生協議会を事業主体とした空き店舗対策や、商業空間の活性化対策を検討し、まちなか交流スペース「ぷらっと」での空き店舗情報提供や、まちなか移住交流推進事業の補助金を支出いたしました。</p> <p>また、去年は国体の開催年であることから、国体期間中において、「国体バル推進事業」を展開いたしました。</p> <p>その事業効果といたしまして、まちなかにおける観光情報や不動産情報・起業情報を提供するためのサービス拠点として、まちなか活性化サロン「ぷらっと」を運営しました。現在もそちらに地域おこし協力隊が常時待機してサービスの提供を行っています。まちなか居住支援につきましても、まちなかの不動産情報を公開し商店街内の空き店舗対策に努めました。また、地域活性化を学ぶ学生、移住希望者を対象に駅前にあります「シクロの家」をお試し居住として、今治の暮らし方体験を実施するなど、まちなか居住に向けた取り組みを行いました。その結果、お試し居住者 7 名、移住者 2 名の方が今治市に移住しています。</p> <p>また、えひめ国体開催期間中、飲食店や観光施設が割引で利用できる「クーポン」を発行し、国体観戦者や選手に情報を提供した。参加店舗は 98 店で発行部数は 3 万部でした。</p>

	<p>最後に今後の方針でございますが、いまばりシティクライヤーとしての参加者を増やすことで、より多様な情報発信・情報収集を可能とします。また日本遺産に登録された特権を最大限に活かし、村上水軍博物館や水軍レストランと潮流体験船といった、観光・食事・体験の3つの要素で更なる集客の増加を目指します。</p> <p>中心市街地では、「ぷらっと」を活用したイベント情報や不動産情報の発信を強化し、また「はーばりー」を拠点とした『いまばり体験商店街』などのにぎわいづくりとともに、まちカフェなどの商業機能の充実や居住人口を増やすことも今後の重要事項であると考えております。以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。以上で、1つめの事業、「今治型産業クラスター構築計画」についての説明が終わりました。今治の産業の関係で、実際に生活をしている市民の皆さんが元気で働けるふるさとを創るといったところで情報発信をして、日本遺産を活用した観光商品や中心市街地の施策など、非常に多岐に亘る内容があったと思います。特に産業の基盤というところは、これからの今治を支える繊維関係の施策もございましたけれども、こういったあたりも含めまして、ご意見・ご質問等、ございませんでしょうか。A委員様いかがでしょうか。</p>
A委員	<p>先ほど説明いただいた中で、まずは繊維染色加工業基盤強化事業については、IMABARI Color Show の開催ということで、こういう繊維染色産業についての展示会は今までなかったと思います。そういったところに、目を向けて力を入れていただいたということは本当にありがたいと思います。これによって繊維染色業界をPRするため、やっていただいたと思うのですが、今後のためにどういった効果が期待できるというか、今、染色業界も色々な課題を抱えていると思うのですけれども、こういった展示会の開催が本当にこの繊維染色業界にとっての課題解決につながるかについて、もう一度検証いただいて、今後の事業を実施する際には参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>それと、中心商店街の「ぷらっと」ですか。中心商店街の活性化事業でやっていただいていると思いますが、市民の方が本当にそういう取組を知っていただいているのかどうかとか、これを実施した活性化事業の効果は本当にあったのかどうか、どの程度検証されているのかというところが感じたところです。</p>
越智構成員	<p>先ほどおっしゃられた「ぷらっと」には、地域おこし協力隊のほうになりますが、こちらの方、実は1名の隊員はまちなかに中高生を呼びたいということで、前のラヂオバリバリのありましたところが、1階が「ぷらっと」になっておりまして、2階に中高生の秘密基地ということで、まちなかの中学生・高校生を1日290円でフリースペースとして自由に食べ物を提供しながら過ごせるようなことをやっております。昨年度の5月からオープンしまして、ついこの間で1年が経ったわけですが、試験期間中等には高校生や中学生がここで一所懸命に勉強していると。皆さん遊びに来られるのかなと思いましたが、意外と真面目に勉強されています。試験期間中に15~20名くらいの方が来られて、自転車が商店街にずらっと並ぶといったことになっております。そちらの方のPRについても、もう少し今後対策を取っていきまして、徐々に市民の方への周知ができるようにと考えております。</p>
商工振興課 (平田補佐)	<p>繊維染色の関係なのですが、今回の事業につきましては、報告書の最後のところにアンケート調査を出させていただいたような形で、染色自体を知っていただ</p>

	<p>くところから出発させていただいているのが現実です。当然のことながら、これから、川に流れる染色の色の問題であるとか、人が集まらないであるとか、諸々な課題はあろうかと思いますが、まずは知っていただいといるところから、まずは入らせていただいといますので、その点をご了解いただけたらと思います。また、色々な検討課題につきましても、委員会の中でも検討をしておりますので、それにつきましても、形として何か今後進めさせていただけたらと思っております。よろしくお願いとします。</p>
座長	<p>ありがとうございます。他にご意見・ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは続きまして、2つめの「しまなみDMO形成推進事業」に移りますが、担当課からの内容説明の前に、本日の評価のしかたについて事務局からご説明させていただきます。</p>
事務局	<p>それではご説明します。「しまなみDMO形成推進事業」は尾道市・上島町・今治市での連携事業となっております、KPIも3市町の合計となっております。事業全体の評価ということになりますと、3市町の合計数値での効果検証が必要となりますが、今治市において尾道市や上島町での取組を評価するのは実質的に難しいこと、また効果検証は3市町それぞれの評価組織で実施するため、それぞれが全体としての評価を重複して実施するよりも、各市町での取組を評価する方が、より意義のある評価となることの2つの理由から、本日は今治市の実績のみを用いた評価とさせていただきます。今後、尾道市・上島町それぞれの評価が終わりましたら、それらを統合するかたちで別途全体評価を作成し、国への報告等にはそちらでの対応とさせていただきます。また全体評価につきましても、委員の皆さまにも共有させていただきますので、ご理解のほど、よろしくお願いと申し上げます。</p>
座長	<p>それでは、資料3 地方創生推進交付金事業効果検証調書「しまなみDMO形成推進事業」について、担当課よりご説明します。</p>
鳥生構成員	<p>地域再生計画しまなみDMO形成推進事業についてご説明いたします。調書をご覧ください。</p> <p>まず、KPIの達成状況でございます。評価指標が、観光消費額、宿泊客数、外国人観光客数の3つございます。2017年の列を縦にご覧ください。1つ目の観光消費額については、対前年比1億円の増加の目標に対し実績は1億円の増加で、達成度100%。2つ目の宿泊客数については、対前年比17,000人の増加の目標に対し実績5000人の増加で、達成度29.4%。3つ目の外国人観光客数については、対前年比2000人の増加の目標に対し実績3000人の増加で、達成度150%となりました。</p> <p>目標2の宿泊客数の増加率の目標に対する達成度は29.4%と、目標を達成できませんでした。この理由は平成28年実績が27年実績に比較して53,000人と大幅に増加したことが原因と考えております。</p> <p>一方、評価指標ごとの対前年比は、全ての評価指標において前年より増加しております。これはしまなみジャパンによるサイクリングイベントの開催や旅行会社招請ツアーなどの国内外向けプロモーションがしまなみ地域の認知度向上に寄与し、各指標の増加につながったと考えられますが、それ以外にも、目標2の宿泊客数においては、えひめ国体・えひめ大会の開催や大型施設建設にともなう宿泊需要の増加。目標3の外国人観光客数においては、訪日外国人旅行者数の全国的な増加や、</p>

	<p>しまなみ海道サイクリングが海外で認知され、引き続きサイクリストがしまなみ地域を訪れていることが要因と考えております。</p> <p>続きまして、評価年度において実施した事業でございます。事業名・しまなみ DMO 負担金、事業費 17,720,000 円でございます。事業概要ですが、市からの負担金により一般社団法人しまなみジャパンが、プロモーション事業及びイベント事業を実施しました。</p> <p>プロモーション事業には、(1) 観光・サイクリング PR 事業、(2) 海外誘客促進事業、(3) マーケティング事業の 3 つの柱がございます。まず、(1) 観光・サイクリング PR 事業では、観光パンフレットを 22 万部、サイクリングマップを 16 万部作成し道の駅などの観光関連施設に設置、公式ホームページを全面改訂するなどしました。公式ホームページでは、自転車の説明など不要な情報をなくし具体的な記事と写真を増やすことで、観光客やサイクリストにしまなみ地域の楽しさをよりわかりやすく伝えられるようにしました。また、ツーリズム EXPO ジャパンやシマノ鈴鹿ロードレースなどの観光イベント・自転車イベントへ出展し、しまなみ地域を広く PR しました。次に、(2) 海外誘客促進事業では、台湾の日月潭サイクリングロードでのサイクリングイベントへの出展、欧米・アジアをターゲットに台湾はじめ 9 カ国から 63 名を招いてのしまなみサイクリング、潮流体験、亀老山展望台からの眺望を楽しんでもらう招請ツアーを実施しました。最後に、(3) マーケティング事業では、観光客動向調査や地域コンテンツ販売促進システムの構築、食(海賊むすび)のブランディングを実施し、地域の飲食店に協力店を募集しました。</p> <p>また、2 イベント事業におきましては、しまなみ海道及びゆめしま海道を活用し、瀬戸内しまなみ・ゆめしま海道サイクリング大会 2017 を開催しました。事業の詳細を示した写真を別紙 3-1 として添付してございますので後ほどご覧ください。</p> <p>続けて、これらの事業実施による「事業効果」でございます。しまなみ地域全体を 1 つの地域として捉えた観光資源及びサイクリングの PR、並びにサイクリングイベントを行ったことにより、国内、国外における当地域の認知度向上につながりました。また、地域コンテンツ販売促進システムの構築によって、地域内の宿泊と体験メニューを 1 つのウェブサイトを集約し、利用者の利便性が向上しました。加えて、食のブランディング事業では、地域独自の食の商品化、ブランド化による誘致に向けての準備ができました。</p> <p>最後に、今後の方針、改善点などがございます。事業効果の高いものとするため、ターゲットごとの動向、好みを把握したうえで、引き続き、しまなみ地域への観光客の増加や滞在時間の延長につながるよう適宜事業を見直し、実施していく予定でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。以上で、2 つめの事業、「しまなみ DMO 形成推進事業」についての説明が終わりました。ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。先ほどの委員様の自己紹介を踏まえまして、B 委員様、観光面で、今治の DMO の取組というのは、4 月からということで、よく内容も熟知されていないかもしれませんが、全国的な DMO の取組とかの中で、今治の地でやっております、しまなみ DMO、しまなみ JAPAN の取組というのは、どのような感想を持たれ</p>

	ておりますでしょうか。
B委員	<p>DMO という取組のほうは、全国的にされておりますけれども、しまなみの方も力を入れてされているというところで、尾道側では、若者等を人材として活用しながら、しまなみ DMO の形成へ力を入れてらっしゃると思いますし、独自の取組をされているということで、注目はしているところではあります。</p> <p>今治側の事業では、宿泊の点でこの事業について思ったことですが、KPI の達成度については外国人の観光客という目標を達成されており、様々なコンテンツやイベントの周知では事業の効果があつたと思います。観光客の認知度では、しまなみのサイクリングの取組は、定着はしていると思いますし、サイクリストではなくても、しまなみ海道への観光客もいらっしゃることは事実です。そのあたりにおいては、事業効果があつたと思うところです。</p> <p>観光客数というところは、今後の課題というところになるとと思いますが、サイクリングはニッチマーケットになりますので、サイクリングへ観光資源をプラスしてブラッシュアップしていく、或いは、それらを繋ぐような若者をはじめとする新たな人材を活用しつつ、観光客数の増加を目指していく、という点ですとか、宿泊客で言えば、現在は短期滞在でなおかつ通過型観光になっているのではないかと思います。尾道側から今治側へ人がどのように流れているのか、今治側から尾道側へ人がどのように流れているのか、というような人数の把握をすることで、いかに今治の中で宿泊客数を伸ばしていくのかを考える必要があるかと思います。そういった動向について、どういう流れになっているのか、長期滞在や宿泊滞在をしてもらうための更なる調査をした上で、ターゲットを絞った情報発信がこれからは必要ではないかと思いました。以上です。</p>
鳥生構成員	<p>しまなみ DMO は出来てまだ1年数か月でございます。B委員が言われましたように、調査も今後進めまして、マーケットとしてどういう風な動向、観光客がどういう風に動くのか、現在、どういう風に動いているのか、足りないものは何なのかという風なことを調査しまして、短期ではなく長期の、通過型ではなく滞在していただけるような事業を展開していきたいというように考えております。以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。他にご意見・ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは続きまして、資料4 地方創生推進交付金事業効果検証調書「「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進計画」について、担当課よりご説明します。</p>
観光課 (渡部補佐)	<p>それでは、「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進計画の29年度実施状況について、ご説明いたします。資料4をご覧くださいと思います。</p> <p>当市では、平成27年度に、観光入込客数、特にサイクリストの急速な増加に対応するため、受入れ環境の整備による交流人口の拡大と地域の活性化を目標に、「いまばりサイクルシティ構想」を策定いたしました。この構想をもとに、29年度は次の3つの事業を実施いたしました。</p> <p>1点目は、レンタサイクル利用者やしまなみ海道サイクリストの拠点となる、糸山のサイクリングターミナルの拡張整備のための基本設計等業務委託でございます。</p>

内容としましては、資料4、1 ページの評価年度において実施した事業の事業概要をご覧ください。そこに記載しておりますとおり、サイクリングターミナルの整備を行うにあたり、昨年度策定しましたサイクリングターミナル基本計画でまとめた施設配置、規模、構造等の整備方針に沿って、レンタサイクル保管庫、トイレ、更衣室など、サイクリストの聖地の拠点施設に相応しい施設整備に向けた基本設計等を実施しました。別紙4-1 は、基本設計報告書を抜粋したものを添付しておりますのでご覧いただいたらと思います。

事業効果としましては、自転車保管庫の規模、構造、配置及びその他の施設機能について、既存施設との連携を図りながら、利用者の利便性、職員の動線に配慮した基本設計ができたことにより、次のステップである、建築物の実施設計にスムーズにつながることができます。

2点目は、各種協議会等が実施するサイクリング施策を推進するため、3つの各種協議会等に負担金を支出しました。事業概要の(1)しまなみサイクルトレイン利用促進協議会、(2)愛媛県サイクリングガイド養成推進協議会、(3)瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会実行委員会でございます。内容としましては、資料4、2 ページの事業概要をご覧ください。そこに記載しておりますとおり、(1)瀬戸内しまなみ海道利用促進のため、JR 予讃線の松山・今治間で自転車をそのまま積み込むことができるサイクルトレインを運行しているしまなみサイクルトレイン利用促進協議会に負担金を支出、(2)瀬戸内しまなみ海道を訪れるサイクリストやツアー客に対し、観光案内にとどまらず、サイクリングの行程管理や安全空間の確保、メカニク的なサポートをするサイクリングガイドを養成する愛媛県サイクリングガイド養成推進協議会に負担金を支出、(3)サイクリストの聖地としてのブランドイメージを高め、交流人口の拡大による地域の振興・活性化を図るため、国際サイクリング大会を開催する瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会実行委員会に負担金を支出したものでございます。別紙4-1の後ろに、サイクルトレインしまなみ号の運行案内リーフレットを、別紙4-2では、サイクリングしまなみ 2018 実行委員会の事業計画書等を添付しておりますので、ご覧いただいたらと思います。

事業効果としましては、(1)サイクルトレインは、計41回運行し、利用者数は337人で、昨年度と比較すると大幅な減少となりましたが、新たに西条便を設置したことにより、大阪南港からのフェリーが発着する東予港とを結ぶ新たな誘客ルートの創出に効果がありました。(2)サイクリングガイド養成講習会を7回実施し、参加者に対し、サイクリングガイドに必要な法知識の習得及び実走にあたっての誘導方法の訓練を行った。12人が受講し、そのうち4人が、公益財団法人日本サイクリングガイド協会が認定するサイクリングガイド検定に合格しました。サイクリングガイドを養成することにより、多様化する団体ツアーガイド要請に対応が可能となったり、旅館・ホテル業の付加価値サービスとして提供したりすることによる雇用の場の創出又は移住者の起業など新たなビジネス展開の可能性が広がります。

(3)今年、10月28日に国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ2018」が開催されます。7,000人が参加する4年に一度の大規模大会で、国内で唯一、供用中の高速道路を通行止めにして走るイベントであるため、国内外から多数の出場希

望者が見込まれています。平成 29 年度においては、サイクリングしまなみ 2018 実行委員会の設立総会、実行委員会、企画部会を開催し、推進体制と整えるとともに、大会運営計画の策定、自転車情報誌での PR 広告、自転車イベント等での PR 活動や大会ホームページ作成等を行い、大会開催告知及び事前周知ができました。

3 点目は、「愛媛サイクリングの日」イベント運営委託であります。平成 27 年度から、愛媛県では 11 月にえひめサイクリングの日を設定し、県内 20 の全市町で一斉にサイクリングに親しみ楽しめるイベントを開催しています。今治市においては、11 月 12 日 SHIMANAMI 自転車ふれあい広場を市内ショッピングモール周辺で開催いたしました。メイン会場ではニューモデルのスポーツバイクや電動アシスト自転車等の試乗会や子供向けランニングバイク走行体験等を実施いたしました。高橋ふれあいの丘のサブ会場では、オフロード自転車でのパンプトラックの走行体験を実施いたしました。その他、サンライズ糸山においては、子ども用レンタサイクル無料貸出や今治サイクリング協会による秋季市民サイクリング大会を同日開催していただきました。別紙 4-3 別紙 4-4 に、愛媛サイクリングの日実施報告書と開催状況を添付しておりますのでご覧いただければと思います。

事業効果としましては、メイン会場及びサブ会場で延べ 446 人の参加があり、交流人口の拡大に一定の効果があったとともに、普段スポーツ自転車に触れたことがない市民の方々に対しても、自転車に親しみ、サイクリングを楽しむ体験の場を提供することができ、スポーツ自転車乗りの裾野を広げることに効果がありました。

次に KPI 達成状況についてご報告いたします。資料 4 の KPI の達成状況をご覧ください。目標 1、観光入込客数につきましては、前年度より 37,000 人増加の 2,818,000 人で、目標に対する達成度は 123.3%となりました。増加した要因としましては、瀬戸内しまなみ海道や村上海賊の認知度が堅調に上がっていることによるものと考えております。目標 2、レンタサイクルの利用件数につきましても、前年度より 4,029 台増加し、66,377 台となり、目標に対する達成度は 100.7%となっております。前年度は、9 月の行楽シーズンの週末ごとに天候が悪く、貸出実績が大幅に落ち込んだが、平成 29 年度は、10 月の台風の影響があったものの、各種媒体へのしまなみ海道サイクリングの露出が多く、国内外での認知度が引き続き上がっていることが考えられます。目標 3、外国人宿泊客数についても、前年度より 2,529 人増加し、また、単年度の目標人数 16,200 人も大幅に上回り 20,906 人となり、目標に対する達成度は 743.8%という結果となっております。これについては、日本全体に海外からの旅行者が増えていることの影響が考えられますが、折り畳み自転車などを持って、しまなみ海道に来る外国人旅行者がいることから、一方で海外におけるしまなみ海道の認知度が上がってきていることも要因であると考えております。

①受入環境整備のためのサイクリングターミナル拡張整備の着実な実施をいたします。②サイクリングガイドの養成を支援するなど各種協議会等への支援を行います。③サイクリングイベント開催による自転車新文化の普及により、交流人口の拡大及び自転車の裾野を広げる施策を継続して実施していく予定でございます。以上でございます。

座長 ありがとうございます。以上で、3 つめの事業、「いまばりサイクルシティ構

	<p>想」を核とする広域観光推進計画についての説明が終わりました。</p> <p>ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。しまなみサイクリングの取組の中で、C委員様、ご意見がありましたらありがたいのですが。</p>
C委員	<p>資料を事前にいただいておまして、結局のところ事業の中でどれもこれも関連があり、終盤で意見を述べさせていただこうかなと思っていたのですけれども、ここまでのところで意見を述べさせていただきます。</p> <p>ちょうど今年のゴールデンウィークの時だったのですけれども、工作中やプライベート時に、市役所の向い側にファミリーマートで買い物をしていたら、外国人の男性2人の方がちょうど休憩をされていて、何がきっかけか忘れたのですけれども、向こうの方から喋りかけてくれるようなことがありました。私は英語が喋れないのですけれども、片言で話をしました。その方たちはフランス人の男性2人でして、恐らくこういうことを言われていたのだと思うのですけれども、レンタサイクルで尾道から今治へ来たということでした。それはすごいと思いながら話をしていたのですが、自転車をどうしたのかと聞いたら自転車は返したという話をされていました。その際、自転車を返したばかりで汗をかいたので、シャワーを浴びられるところはどこかにないのかと聞かれました。インターネットか何かで調べたのだと思いますが、駅の裏にキスケの湯があるという話をすると、それは知っておりました。その方たちとお話をしている思ったのが、駅や駅前、駅の近くで、とにかく外国人観光客の方が目立つということです。そういう方たちから聞かれた時、ゴールデンウィークだったので、観光パンフレットやサイクリスト向けのパンフレットがあるよということを伝えたかったのですが、そのファミリーマートなら市役所へ行ったらいいと考えましたが、その日は閉庁日でした。やはり外国の方もコンビニはかなり使われているようなので、観光で使われているパンフレットなどを、コンビニに限らず一般のお店の中や、休日でも空いているようなところに置かれると、外国人の観光客にとってすごく便利なのではないかなと思います。フランスの方たちとのやりとりの中で思ったのは、どこかに簡易シャワーやコインシャワーがあればいいということです。また、そのフランスの方たちは、恐らく経済的に余裕のある旅行ではなく、安く泊まる場所はないのか、テントを建てられる場所はあるか、ということをおっしゃっていました。その際、近くに森見公園はあるのだけでも、という話はしたのですけれども、その後は実際にどうされたかわかりません。そういったところで、格安で旅行をされている外国の方や、自転車旅行の方もそうですが、そういう方向けの簡易宿泊施設やカプセルホテル、テントを建てられる場所、が市内の中心部にあると、サイクリストにとっても良いかと思います。そして、まちなかで今治の名物を食べることで、思い出を作ってもらおうということに繋がるのかなと思います。もう一つは、外国の方がいらっしゃった際、旅行の中で印象に残るのは食べ物とおもてなしであると思いますが、インターネットだけではなく、看板やパンフレットに対しても、英語や中国語で対応を更にきめ細かくするとリピーターも増えるでしょうし、人が人を呼ぶというような形で観光客の増加に繋がっていくのではないかと感じております。自転車に関して言うと、効果は出ているのではないかと私は思いますが、数値が右肩上がりでも推移していくためには、そういった対応をしていかなければならないと思います。つまり、口コミでまた行きたいと</p>

	<p>いう人を引っ張ってくる努力というのもしていかねばならないと思います。もちろんそういう努力は進められているとは思いますが、たまたまそういう場面に出くわしましたので、感じたことを述べさせていただきました。</p>
座長	<p>ありがとうございます。他にご意見・ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>それでは、次の議事へと進めさせていただきます。議事（２） 地方創生拠点整備交付金事業（平成 29 年度実施事業）の効果検証について、協議をさせていただきます。</p> <p>資料 5 地方創生拠点整備交付金事業効果検証調書「「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進計画」について、担当課よりご説明します。</p>
観光課 (渡部補佐)	<p>瀬戸内しまなみ海道沿線における滞在・交流拠点整備事業、大三島ふるさと憩の家の改修についてご説明いたします。内容としましては、資料 5 をご覧ください。</p> <p>大三島ふるさと憩の家は元々昭和 31 年に建築されました宗方小学校であります。昭和 30 年 3 月に廃校となり、その後、青少年の研修や団体客が利用しやすい低料金の公共の宿として整備、運用されてきました。隣接する、岩田健母と子のミュージアムとともにたたずむ木造校舎は、瀬戸内の豊かな自然によって育まれた原風景として、内外から注目を浴びておりました。近年では、サイクリング・ブームもあって、利用者は県内外のサイクリストや台湾・香港からのインバウンドを中心に年々増加しております。また、国際建築家連合のゴールドメダル受賞が決定した世界的に活躍する建築家・伊東豊雄氏が 2014 年から取り組んでいる日本一美しい島・大三島をつくろうプロジェクトの活動のひとつの拠点となっております。</p> <p>平成 29 年度は、瀬戸内しまなみ海道沿線における滞在・交流拠点整備事業といたしまして、大三島ふるさと憩の家の改修事業を実施しました。地方創生拠点整備交付金を活用して、前述した NPO 法人これからの建築を考える伊東建築塾が事業主体となって実施し、様々な観光資源を有し、瀬戸内しまなみ海道の中間点に位置する大三島におきまして、近年増加している外国人サイクリストを含む観光客の島しょ部における滞在・周遊拠点、そして、地域住民等との交流拠点を整備し、しまなみ海道沿線の一層の誘客促進と広域観光の進展を図り、地域振興につなげようとするものでございます。事業費は 117,149,000 円でございます。</p> <p>財源内訳は、国の地方創生拠点整備交付金が補助率 2 分の 1 で 58,574,000 円、市債 5,850,000 円、一般財源 75,000 円となっております。</p> <p>大三島ふるさと憩の家の改修事業の主な改修内容でございます。</p> <p>1 点目は、屋根・床下改修、耐震補強などの建屋改修、拠点機能強化のための建物改良です。国内外からサイクリストや観光客を呼び込み、島しょ部における滞在・交流拠点として機能強化を図るため、2 階建て棟の 2 階部分の一部を食堂兼交流スペースとして利活用できるよう屋根・床下の改修と耐震補強工事を実施しました。また、2 階建棟の屋根は瓦屋根から板金屋根に改修して軽量化し、耐震性能を高めました。</p> <p>2 点目は、入浴施設の増設です。瀬戸内の島々を一望しながら入浴できる風呂棟、セミパブリックバスと呼んでいますが、それを増設し、利用者の利便性を向上させ、滞在拠点としての機能強化と誘客促進を図ります。</p> <p>3 点目は、インバウンド誘客のための模様替えです。客室のフローリング化や来</p>

	<p>訪者も利用できる洋式トイレの増設、交流スペースの設置、食堂の内装や照明等の改修により、宿泊・利用環境を整備することで滞在拠点に必要な快適性を高め、インバウンドの誘客促進を図ります。</p> <p>4月21日に開催された改修工事竣工式と内覧会には地域住民の方や関係者の方々150人程度の方が参加していただき、4月25日にリニューアルオープンしました。</p> <p>今後は宿泊施設の利用はもちろんのことではありますが、NPO法人これからの建築を考える伊東建築塾が中心となって、多くの国内外からのサイクリストや観光客、住民、移住者、伊東建築塾の塾生等などの交流・活動事業の実施を計画しているところでもあります。</p> <p>次にKPI達成状況についてご報告いたします。資料5の「KPIの達成状況」をご覧ください。目標1、観光入込客数と目標2、レンタサイクルの利用件数につきましては、先ほどの「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進事業と同じです。目標3、施設利用収入については、前年度比12.8%下がっておりますが、この要因としましては、建物等の改修工事が11月から開始されることに伴い、宿泊事業を11月以降停止したことによるものであります。</p> <p>大三島ふるさと憩の家の改修事業の説明については以上です。</p>
座長	<p>ありがとうございました。以上で、4つめの事業、地方創生拠点整備交付金事業「いまばりサイクルシティ構想」を核とする広域観光推進計画」についての説明が終わりました。</p> <p>ここまでの内容で、ご意見・ご質問等ございませんでしょうか。全般を通じて観光面での取組が多かったように思うのですが、D委員様、いかがでしょうか。</p>
D委員	<p>当協会の方では、今治物産協会が今年の8月に解散しましたので、その解散を受けまして、私どもの観光と物産の一元化を図るために、今年度の4月、ゴールデンウィーク前に、来島展望館のところで、しまなみPICNICということで館を改修させていただきました。今治地方の物産、そして観光を来館される観光客の方へのPRあるいは物販というものの一元化を図っているというのが現状ということでございます。近況報告ということにさせていただきます。以上です。</p>
座長	<p>ありがとうございました。他にご意見・ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>(意見・質問等なし。)</p> <p>ないようでございますので、以上で全ての次第が終了いたしました。委員の皆さま、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。最後に、今後の予定について、事務局よりご説明します。</p>
事務局	<p>それではご説明します。本日委員の皆さまからいただいたご意見を資料2～5の評価調書の左下部分に記載し、改めて追加のご意見をそれぞれの委員の皆様個別に頂戴したら良いと考えております。それらを踏まえまして、市の方針も調整したうえで、来週中ごろを目途に、委員の皆さまに郵送させていただきますので、ご確認をいただきますよう、お願いいたします。評価結果につきましては、ご確認いただいたのち、市議会においてお示ししたうえで、市のホームページにて公表させていただきますこととなりますので、ご了承ください。</p> <p>また、今後のビジョン懇談会の予定でございますが、今年度、あと2回の開催を</p>

	<p>予定しております。総合戦略及び共生ビジョンのK P I の効果検証を8月頃に、総合戦略及び共生ビジョンの所要の改訂を10月頃に実施する予定でございます。また、今年度も引き続き地方創生推進交付金を活用した事業を実施しております。委員の皆さまにおかれましては、引き続きご協力を賜りますよう、お願いいたします。以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。今後の予定等につきまして、ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>かまいませんでしょうか。それでは、本日は長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。これをもちまして、平成30年度第1回「今治市ふるさと共創・共生ビジョン懇談会」を閉会といたします。</p> <p>皆様、本日はどうもありがとうございました。</p>